

市長と話そう！ 地域別 タウンミーティング



正岡地区タウンミーティングを開催

「暮らしの安全安心」と「地域振興と福祉の充実」をテーマに7月23日、地域別タウンミーティングを正岡公民館で開催しました。

参加者からは、地域住民の安全安心なまちづくりや農道・水路に関する意見や要望がありました。

野志市長は、市のこれまでの取り組み状況などを説明するとともに、「市役所は皆さんにとって一番身近な存在です。これからも遠慮なくご意見をいただきたいと思います」と話しました。

意見・要望

- ・北条ふれあいセンターにAED(自動体外式除細動器)を設置できないか。
- ・農道や水路の工事を計画的に進めてほしい。

948 町
6 3 3 3
・ FAX
934 2 3 3 6

感想

・各意見に対する市の回答がよく分かった。
・熱中症予防や家庭内備蓄を説明した広報タイムが良かった。

災害時の備えを再確認

市長と直接意見交換ができる良い取り組みだと思えます。また、市の担当者から家庭内備蓄の分かりやすい説明が聞け、災害時への備えの大切さを再認識できました。

村上 京子さん (中西外)

市制施行130周年記念事業 「NHKのど自慢」観覧者募集!

市制施行130周年を記念して、本市で9年ぶりに「NHKのど自慢」を開催します。本選の観覧を希望する人は、下記要領のとおり、お申し込みください。

日時〈本選〉10月13日(日) 開場=11時▶開演=11時40分
〈予選会〉10月12日(土) 開会=11時45分▶結果発表=17時15分頃
会場 松山市民会館(堀之内)
出演予定 予選を通過した20組程度▶ゲスト=丘みどりさん、純烈さん
観覧申し込み 往復はがきでお申し込みください

(返信表面)	(往信表面)
郵便番号	①郵便番号
申込者住所	②住所
申込者名 行	③名前
	④電話番号
	※返信裏面には何も書かない



宛先 〒790-8501 NHK松山放送局「NHKのど自慢」観覧係
締切 9月11日(水) (必着)
※入場無料。
※応募多数の場合は抽選。当選者には入場整理券(1枚で2名まで入場可。1歳児から人数に含む)を、落選者には落選通知を9月27日(金)ごろ発送予定
※予選会の観覧は自由。満席の場合は入場を制限する場合あり
※詳細はNHK松山放送局HP <https://www.nhk.or.jp/matsuyama/>を確認



企画戦略課 ☎948-6213 ・ FAX934-1804

10月31日(木) 市長と話そう! 日浦地区 タウンミーティング参加者募集

日時 10月31日(木)19時~20時30分
会場 日浦生活改善センター(河中町)
テーマ 日浦地区のまちづくりについて
定員 35人程度
対象 日浦地区に在住または通勤・通学している人
申し込み 8月29日(木)(消印有効)までに、直接または郵送、ファクス、eメールで参加申込書(タウンミーティング課〈市役所本館9階〉、湯山支所河中出張所、市ホームページにあり)に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先(学校名)、テーマについての意見などを書いて、〒790-8571タウンミーティング課 town-m@city.matsuyama.ehime.jpへ
※託児が必要な場合は、申込書にご記入ください



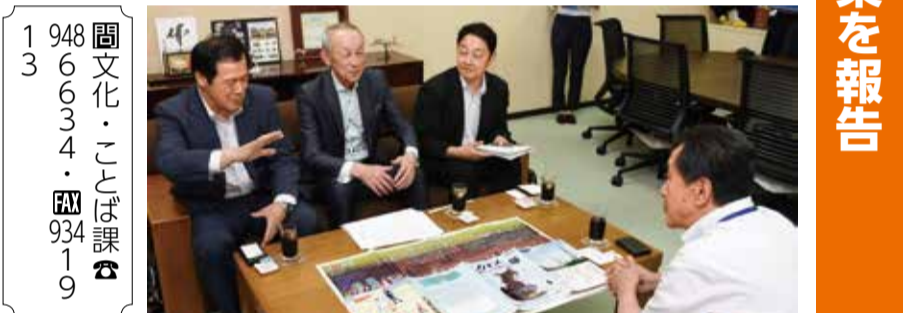
町タウンミーティング課 ☎948-6333 ・ FAX934-2336

劇団四季が事業を報告

劇団四季と(一財)舞台芸術センターが小学生を対象に実施している児童招待事業「こころの劇場」の報告のため、7月9日、本市を訪問しました。

梅岡副市長が「子どもたちがすばらしい作品に出会えるのでありがたい」とあいさつ。劇団四季・佐々木典夫代表取締役会長は「多くの子どもたちに演劇の感動を伝えていきたい」と話しました。

本市では平成21年度から、毎年公演され、昨年度までに約1万4000人の市内の小学生が観劇しています。



JICA海外協力隊 出発報告で市を訪問

本市から青年海外協力隊として開発途上地域に出発する隊員5人が、7月10日に本市を訪問。現地での活動の抱負を語りました。

梅岡副市長は「一体に気を付けて現地で活躍してほしい」と激励。各隊員は、派遣国で1~2年間ボランティアとして活動します。

派遣される隊員・派遣国は以下のとおり▼
▼玉木牙子さん(ヘルニア)▼塩入拓磨さん(コロンビア)▼前川哲人さん(パナマ)▼森松沙紀さん(パラグアイ)▼村上二郎さん(ミャンマー)



「八束氏庭園」が登録記念物に

6月21日、文化審議会は「八束氏庭園」(持田町三丁目)を国の登録記念物(名勝地関係)に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

「八束氏庭園」は、昭和11年に、茶室のある数寄屋風の主屋や待合などとあわせて造営されました。表門から玄関に続く道は、瓦が立てて埋め込まれ、川の流れを表現した特徴的なデザインで、訪れた人の想像をかきたてる造りとなっています。

所有者の八束美邦さんは「祖父母から受け継いだ庭が登録されることになり、うれしく思います」と話しました。

※一般公開の予定はありません

